

心の輪32R



『やさしいうそ』という資料を通して、
「障害や困難に屈しない意志」について考えました！



山形の実家から帰る途中、交通事故に遭い、重傷を負った女優の萩生田千津子（はぎうだ ちづこ）さん。一命は取り留めたものの、首の骨を折り、頸髄損傷による全身麻痺の身となり、「一生寝たきり」という宣告を受けてしまう。現実を受け入れられず、絶望的な気持ちになるが、励ますため、心配させないため、様々な思いで、萩生田さんや周りの人たちは、お互いに『やさしいうそ』をつき続けることになる。そんなある日、小説家の水上勉先生がお見舞いにやってくる。そこで水上先生に言われたことをきっかけに、『語り部』として再び舞台に上がることを決意する。この話の最後に萩生田さんは、「私は今、生きることが大好きです。」と述べている。萩生田さんは、なぜ、ここまで強くあることができたのだろうか？どんな障害や困難にぶつかっても、充実した生き方を送るために大切なものは？

私だったら、こんなにも明るくられないと思ったから、すごいと思いました。本当は不安で押しつぶされそう、苦しいとも思っていたと思うけど、自分を取り繕い、明るく振る舞うことは、私にはできないと思ったから、すごいと思った。

今回の道徳で、一分一秒を大切に、何事にもチャレンジし、悔いがないように生きることが大切だということが分かりました。私も今から、悔いがないように一分一秒を大切にしていきたいと思います。

自分は、よくネガティブに考えてしまうことが多い。でも、よく母からは、「ポジティブに考えた方が、心が軽くなるし、物事がうまく運ぶかもしれないよ」と言われている。今回の話は、母の言葉と少し重なった部分があった。



理想通りにいかない現実もある

目標の実現に向けた道のりは決して平坦ではない。
例えば、
勉強にしても、スポーツにしても、芸術にしても
自分なりに努力したつもりでも
うまくいかないこともある。
各分野の第一線で活躍する人たちも
同じように苦い経験や挫折を味わいながら
それを乗り越えてきた。
優雅に泳ぐ白鳥は、
水面下で懸命に水をかいているのだ。

文部科学省資料
『心のノート』P.18より引用

『うそ』をどう思うかは人それぞれですが、私は、『うそ』という言葉は裏腹で悪い言葉とも言えますし、良い言葉とも言えると思います。この『やさしいうそ』という実話では、良い『うそ』について書かれています。その『うそ』がどう人を変えるのか、人の可能性、人生について、少し気付かされました。「生きることが大好きだ」と私もいつか強く思えるように、これからよく考え、行動していきたいです。

千津子さんは本当にすごいと思った。こう思うと、私は明日も生きているとは言い切れない。明日死なないとは、100%言い切れない。怖いなと思った。だから、一日一日を大切にしなければいけないなと思った。

私は、自分の生き甲斐や自分にできることを見つけることができたんだと思います。水上勉の言葉が、自分の気持ちを変えたのは確かだと思います。一日一日を大切にすることが必要だと思いました。

一日一日を精一杯生きるということは、周りにいる人を大切に、優しく生きるということだと思った。